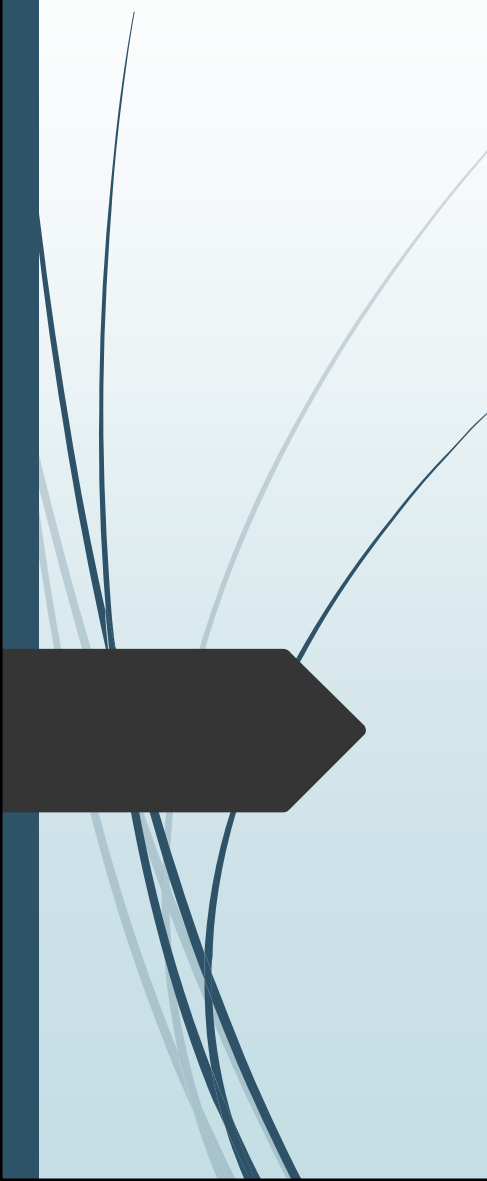


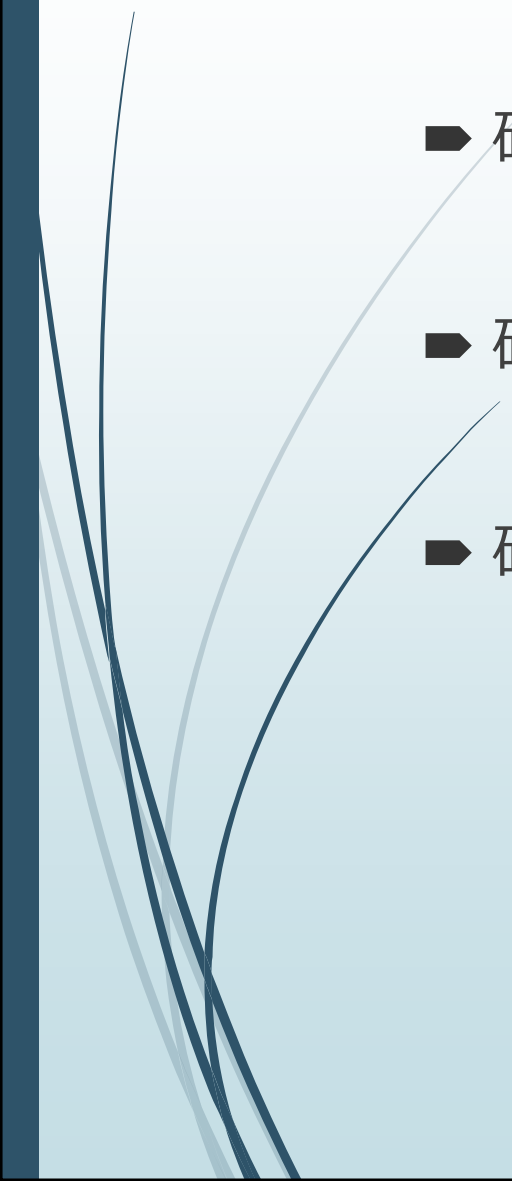
学校係る諸問題の把握と 今後の発生率予測



総合情報学科 知能情報システム研究室
永井ゼミ 4年 石橋 知浩



目次

- ➡ 研究の動機と目的
 - ➡ 研究手順
 - ➡ 研究計画
- 

動機

- 学校現場で起きている問題について、いじめ・不登校を取り上げ問題の背景や原因を調査し、発生率の予測を行ないたい。
- 小・中・高ごとのいじめや不登校における問題の背景・原因を調査し、校種別に優先して対処すべき原因を見つけ出せれば効率的に対応にあたることができるのではないかと考えた。

目的

- いじめや不登校について問題の背景や原因を調査・整理し、今後の発生率の予測を立てることができるのか検証を行なう。
- 校種別に背景や原因をグループ分類していき共通点を探る。
- コロナ前後でのいじめの件数を調査する。

研究手順

- 文部科学省の発表を中心として研究材料を収集する
いじめ・不登校の発生件数、背景、原因に係るデータ
- 集めた研究材料を整理し、学習データで使用するものの選定
- 機械学習を用いて分析
 - ・ WordCloud分析
 - ・ グループ分類

↓

発生率の予測

研究計画

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---	---

研究調査（研究材料収集）

分析（整理・グループ）

発生率予測

評価・考察

論文作成